

あなたとまちのコミュニケーション情報紙

うみ彦・やま彦・夢産地

広報

あさし



No.442

6

1992

朝日町役場/〒939-07 富山県下新川郡朝日町道下1133 ☎ 0765-83-1100



まちを まちを
愛することは 知ること
— ふるさと再発見シリーズ No.27 —

ふれあいの時遊スポット

歴史公園

宮崎の鹿島神社の春まつりに舞われる稚児舞



↑東草野の春まつりでの獅子と天狗の掛けあい

6年に1度、山崎の吉祥院で開帳の際に奉納される米つり行列



にぎやかな笛・太鼓の音にあわせ、町なかをみこしが練り、獅子や天狗が見事な掛け合いを演じながら舞い踊る――。

人々の祈りと熱い思いをさまざまな形で受け継いできたまつりは、かつて地域の一大イベントでした。しかし、時代の流れとともに伝統あるまつりも徐々にその姿を変え、あるいは消しつづつあります。今回は、東草野で新たに再興されたまつりを中心に、町内のまつり事情を探りたいと思います。

ことわざ紹介

ことわざには、先人の知恵が凝縮されており、人生を生きていく上での様々なことを見つけることができます。

東草野

まつり再興までのあしどり

東草野神社の鳥居が完成し、獅子舞が奉納される。

このころ獅子舞が途絶える。

このころ青年団組織が消滅。

青年団が再組織され、まつり再興への準備を開始。

各地のまつりへ出向き、それをもとに独自の踊りを創作。

まつり再興への第一歩、天狗舞がスタート。

獅子頭の寄付を受け、天狗舞に加え、獅子舞がスタート。秋まつり後、天狗面や衣装などを新調。

今年も4月、春まつりが行われる。

〔特集〕まつり ◆ 新事情

東草野に にぎやかな まつりが戻った

四月十二日、夕方六時過ぎ。子供たちの担ぐみこしが町内一軒軒の家を回り終え、地区の人たちが次々と東草野神社の境内へと集まってきました。

東草野の春まつりもいよいよクライマックス。人垣ができた境内に威勢のいい太鼓の音が鳴り響き、女子高校生らの吹く笛と拍子木のリズムに合わせ、獅子舞が始まりました。

大勢の人たちが見守るなか、巧みに操られた獅子が勇壮に舞い、息の合った天狗との掛け合いや小天狗たちの踊りが次々と披露され

ていきます。そのたびに見物客からは盛んな拍手が送られ、なかでも小学生が扮する小天狗の舞には、あちこちからおひねりも飛び交うなど、辺り一帯におまつりムードが広がっていました。

東草野ににぎやかなまつりが戻って七年。今年もまた地区の人たちは、日が落ちるまで手作りのまつりに酔いしれました。

若者たちが音頭取り

にぎやかなまつりを東草野に呼び戻した主役は、若者たちでした。七年前の昭和六十年春。隣の町

若者たちはよくやった



佐渡達雄さん

自分たちの町内にも獅子舞くらいあってもいいなと思っていたころ、若い人たちがから笛を教えてほしいと頼まれましてね。若かったころ覚えた調子を口伝で教えたんです。が、まつり再興のお役に立てたかと思うと、うれしい気持ちでいっぱいです。

それにしても自分たちの手でまつりを掘り起こし、呼び戻した若い人たちは本当によくやったと思います。子供たちを引き付け、指導していったのも若さの力。同じ地域に住む者として、ウチの若い衆たちを誇りに思いますよ。

内会のにぎやかな獅子舞を目のあたりにした若者たちは、自分たちの町内にもこうしたまつりを復活させようと発奮。当時、名ばかりだった青年団を再組織し、まつり再興に乗り出しました。

そのとき集まったメンバーは十数人。二十四歳を頭に、全員が二十代前後の若者たちでした。

まつり当日、境内に笛や太鼓の音が鳴り響き、小天狗たちの踊りも披露されました。↓



春の本番一か月前

まつり再興へのめどが立ったものの、次なる問題は衣装や道具がないこと。笛や太鼓はどうにかそろえたものの、値の張る衣装は一度にそろえることはできません。そこで町内の人たちの協力をえて急ぎよ、布団の表地で衣装を作ってもらったことになりました。一方、春の本番に向けた一か月前からは、毎晩のように神社に集まり、猛練習を開始。自分たちの練習に合わせ、小学生には踊りを、高校生には笛を教える日々が続きました。



独自の踊りを創作

メンバーがそろい、まつり再興に向けた体制がとりあえず整ったものの、まず第一にやらなければいけないことは、踊りや笛・太鼓などのはやしを覚えること。ところが町内には、昭和二十年代に使われていた古い衣装が残っているだけで、肝心の踊りを教えてくれるような人や手がかりになる資料な

どは何もありません。

かろうじて、当時の笛の音を覚えていた人を探して、当時のメンバーたちは、その笛の音を頼りに、それに合う踊りを創作することを決意。ビデオを抱え、平柳や草野、蛭谷といった伝統的な獅子舞のある地区のまつりに出かけては、それを撮影して持ち帰りました。そして、ビデオを見ながら自分たちの笛の音に合うように、足や

そして、まつりの日

まつり再興を目指してから一年後の昭和六十一年四月。若者たちの熱意と努力によって、東草野ににぎやかなまつりが戻りました。笛の音だけを頼りに自分たちの手で踊りを作り出し、仲間の輪を広げ、地域の人たちの理解と協力をえながら、一年という短い時間で夢をかなえた若者たち。布団の表地で作ってもらった衣装をまとい、自分たちだけの踊りを自分たちの仲間と舞う若者たち。

まつりが残したものは

東草野ではこれ以来、舞をとまなうまつりが定着。二年前には地区出身者から獅子頭の寄贈を受け、天狗舞に加えて獅子舞も披露されるようになりました。また、同じ年には「コミュニティ助成事業」で、天狗面や衣装なども新調。地区をあげて、このまつりを盛り上げていくという気運が高まっ

子供たちを“仲間”に

教わった笛の音を頼りに踊りの振り付けを創作した若者たちは、同じように太鼓や拍子木の打ち方もマスター。まつり再興に向けた第一歩を踏み出しました。

そして次に彼らを取り組んだのが、実際にまつりを行うための仲間作り。「せっかくやるのだから、より長く続けられるように」と、子供たちを「仲間」に入れることにし、町内の各家庭に理解を求めて回りました。

こうした若者たちの呼びかけに町内の人たちも温かく協力。若者たちを中心に、小学生は踊り、高校生は笛という担当が決まり、まつりへ向けた準備が着々と進んでいきました。

てきています。

東草野にこうしたまつりが戻った背景には、他の地区に比べて世帯数が百五十世帯と多く、若者の層が厚かったことや、歴史や伝統を重んじる既成のまつりが存在しなかったことも幸いしたのかも知れません。しかし、言うまでもなく一番の原動力となったのは、若者たちの地域への愛着でした。東草野の若者たちが呼び戻したものは、失われつつあった地域への愛情と人々の連帯感だったのかもしれない。



↑笛は女子高校生が担当。本番を控え、練習にも熱が入ります。

親子で地域の仲間入り



川上 淳子さん

子供が今年一年生になり、今年初めて同じ町内の同級生三人と一しょにまつりに参加しました。

青年団の方が誘いに来てくださるまで、私自身もまつりのことは知らなかったんですよ。でも、まつりの一か月前から練習があり、子供の付き添いでよく神社へ出かけました。おかげで、親子そろって地域の仲間入りをさせていたただいたような気がします。

青年団の皆さんには頭の下がる思いですが、できれば今後もこうしたまつりを続けてほしいですね。

まつりは目的ではなく手段



脇山 正美さん

まつりを復活させる前は正直言って、僕たち若者と町内の大人たちとの

間には大きな溝があったように思います。けれども、まつりを通じてお互いのなかに信頼関係が生まれました。

当時はいいメンバーに恵まれていましたが、今の若い連中もキラキラしていますよ。まつりに限らず、これからますます地域を盛り上げていくってれると思います。

まつりは僕たちの最終目的ではなく、ふれあいとコミュニケーションの一手段。みんなを元気づける特効薬のようなものです。



↑神社の中では、1か月前から毎晩のように踊りの練習が行われました。

ゆるる
まつり事情

伝統と時代のはざま

まつりは どこへ行く

今なお残る
数多くのまつり

東草野でよみがえったまつりとは別に、昔と変わることなく脈々と地域の人たちに受け継がれてきたまつりも朝日町には数多く残っています。

なかには、宮崎の鹿島神社の春まつりに舞われる稚児舞や、笹川の諏訪神社の春と秋のまつりに舞われる獅子舞のように、町指定の無形民俗文化財になっているものもあります。そのほかにも下の図にあるように、獅子舞や天狗舞などの祭礼芸能をともなうまつりが各地に残っています。

こうした伝統と歴史あるまつりは長い間、地域の人々によって大切に守り伝えられてきました。しかし、時代の流れとともに最近では、こうしたまつりも次第にその姿を変えざるをえない状況になってきました。



↑平柳の秋まつり



←小在池公民館で春まつりの
笛の練習

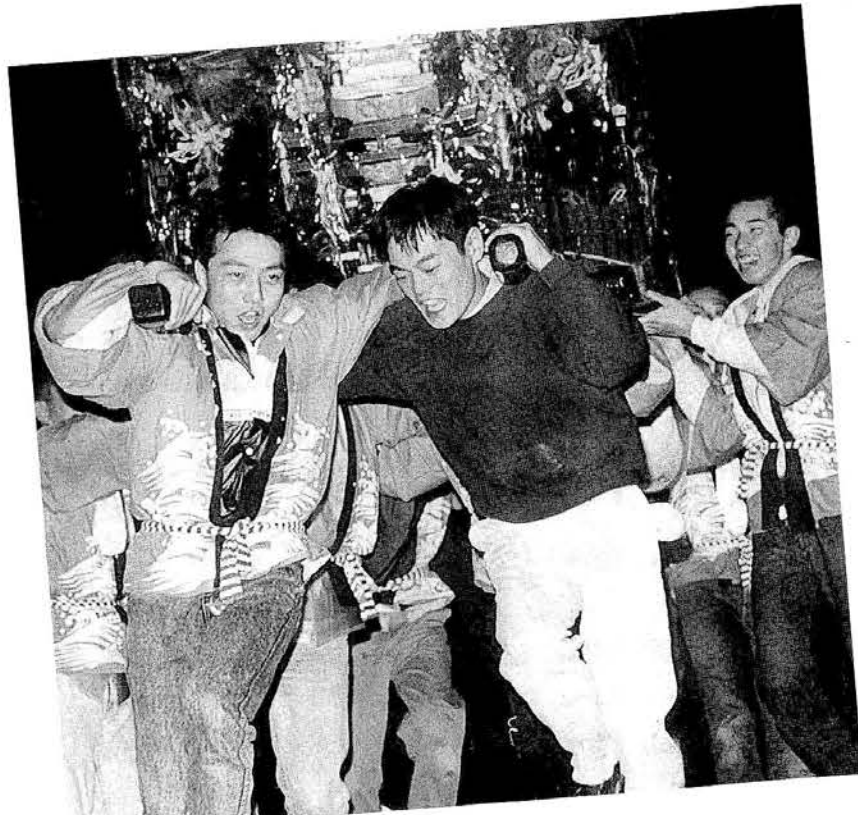


→宮崎の稚児舞

伝統を 支えきれない理由

『みこしの担ぎ手がない』『笛の吹き手がない』など、まつりを取り巻く状況が厳しくなっているといえ、各地区では伝統の火を消すまいと、さまざまな努力を重ねてきています。

すでに多くの地区では、古くから決まっていたまつりの日を日曜日に移しているほか、かつては青



↑殿町の春まつり

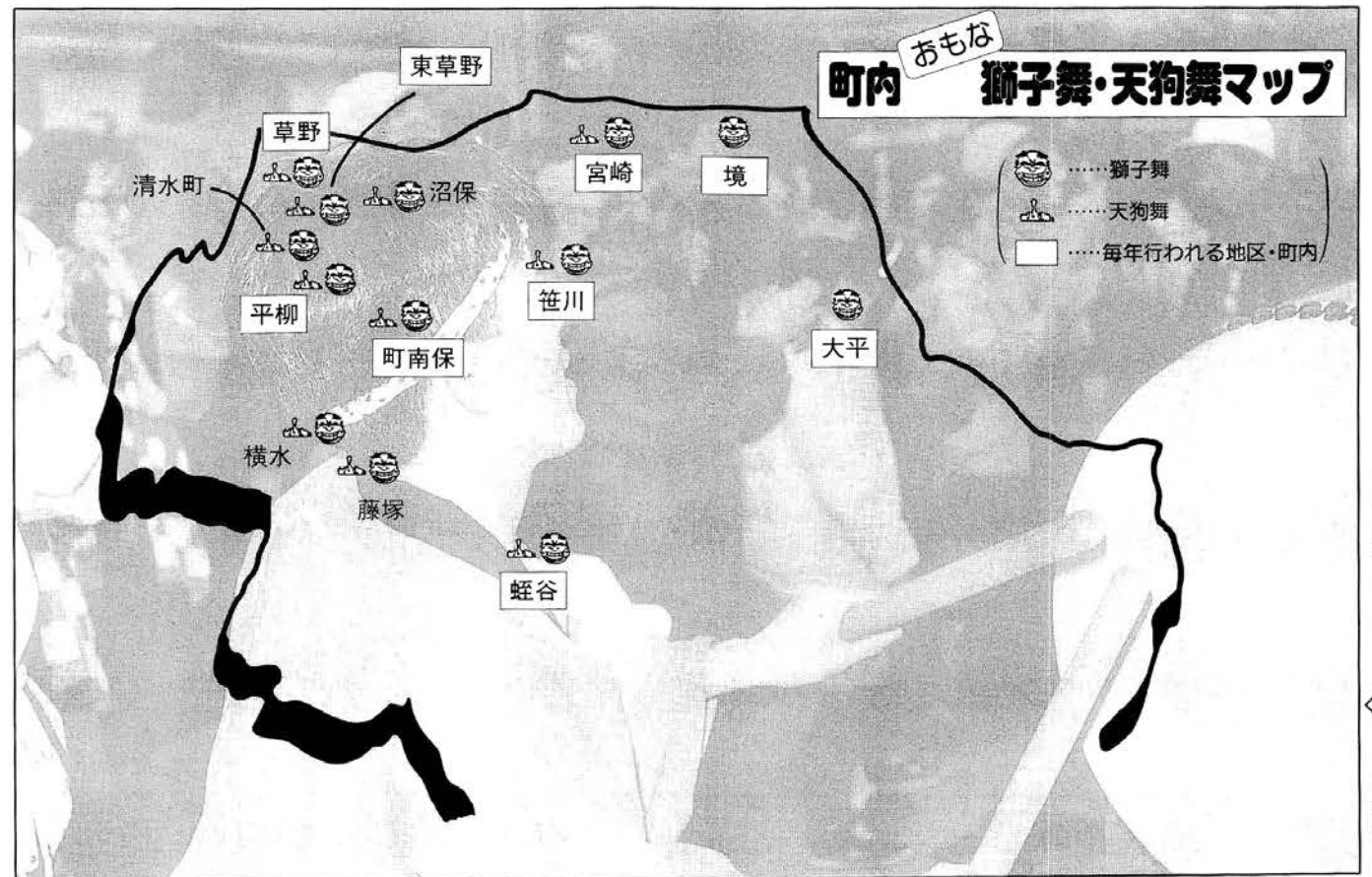
今後の まつりの行方

あるところでは伝統に束縛されないまつりが生まれて人々の連帯を強め、あるところでは伝統を誇ったまつりが地域意識の低下や過疎化が原因で消えていく。

かつて、人々の祈りと感謝の思いを表現し、地域の人々の結びつきを確認しあったまつりは今、時代の大きなうねりのなかで揺れています。

東草野の若者たちが呼び戻したまつりは、それを利用し、自分たちの住む地域の活性化をねらったものでした。一方、伝統あるまつりは、それ自身が保存すべき価値のあるものです。

まつりをいかに守り、いかに利用していくか。これからのまつりの行方は、私たち自身にかかっています。



まつりは地域の 人たちのきずな



山本光夫さん(小在池)

私たちの町内でも十年以上前からまつりに子供たちを参加させています。若者が減り、人手が足りなくなったこともありましたが、子供たちが加わると、それだけでまつりが盛り上がり、活気が出てくるんですよ。

過疎化が進めば進むほど、まつりの重要性みたいなものが現れてくるんじゃないでしょうか。とにかく、子供たちに引き継ぐまでは、地域を担ぐつもりでみこしを担ぎ続けたいと思っています。

東草野のように若い人たちがやる気を出してくれば、これにこしたことはありません。うらやましい限りですね。

まつりは地域の人たちのきずなです。その意味でも、いろんな機会を通じて、地域を愛する子供たちを育てていきたいと思っています。

雨降って地固まる……困難な事や悪いことがあった場合、その試練に耐えることによって、かえってよい状態になること。

渡りに船……何かしようとしている所へ必要なものや望ましい状態が、都合よくそろふことをいう。



ステップも軽やかに
ダンス歴45年 **寺田 栄**さん(栄町・73歳)

「体を美しく動かすスポーツ性、音楽を楽しく聴く感性、パートナーとの呼吸、そして、これらの要素をまとめあげる芸術性」。老若男女を問わず、生涯の趣味としてダンスは最高のスポーツです」と、にこやかに話す寺田さん。

今から四十五年前。当時、中国の上海

にいた寺田さんは、近所に住むフランス人にダンスの手ほどきを受け、たちまちその魅力に取り付けられました。終戦後、寺田さんが日本に戻ってから国内にもダンスブームが到来。「昭和三十年ころがピークだったでしょう。町内にもダンスのレッスンスタジオがいくつあったものです」と当時を振り返りますが、一時は自分自身でもスタジオを構えたこともあったとか。

「ダンスは習ったその日からステップを楽しめる気軽さもありますが、奥行きが深いのもまた事実」と話す寺田さん。多くの人たちにダンスの楽しさを伝える一方、七年前からは朝日ダンスクラブの指導者としても活躍中。

ダンスは明るく健康的なスポーツであるというのが持論。「足が動く限り、これからはステップを踏み続けたい」と意欲満々です。

キラキラ ふれ愛 ごき点

すめがらくん

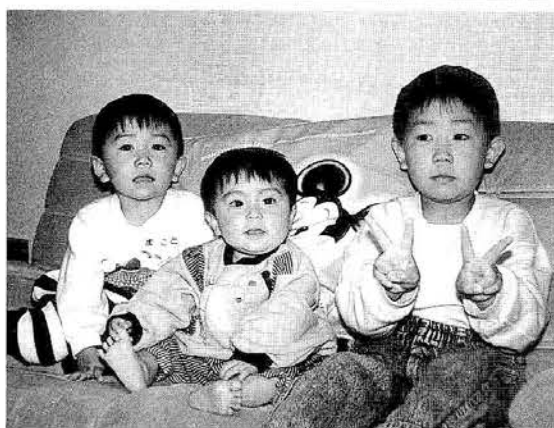
☆勤務先 J A 大家庄
☆血液型 B型 ☆星座名 おひつじ座
☆趣味 車、バイク



坂本 伸治さん
(24歳・下山新)

当面の目標は二つ
農協に勤めて三年目。仕事の方は春の農繁期が終わり、忙しさも一段落といった感じですが、プライベートな面では、先に教育文化会館で行われた劇団「希望舞台」による「天までとどけ」公演の実行委員長として、つい最近まで東奔西走。今はようやく公演を無事に終え、ホッとしているところ。

趣味は車やバイクですが、当面の目標は七月二十四日から立山で開かれる「国際青年の村'92」のスタッフの一員として、この大きなイベントを成功させること、そして嫁さんを見つけることの二つです。
理想の女性は、黙ってついてきてくれるタイプ。そんな女性が現れてくれれば、すぐにでも結婚したいですね。



月山の荒尾忍・千春さん夫妻の
長男 聡(さとし)くん 4歳
二男 誠(まこと)くん 2歳
三男 航(わたる)くん 9か月

思いやりのあるたくましい子に

長男の聡はハサミとセロテープが必要で、新聞紙などでオリジナル作品を作っては、みんなを遊ばせてくれるやさしい子。反面、一番のヤンチャ者で生傷が絶えず、パンソウコウとはお友達。
二男の誠はサザエさんちのタラちゃんタイプで、おとなしく聞き分けのよいおりこうさん。お兄ちゃんや弟のめんどろみもよく、この四月から保育所生活を楽しんでいるうめ組さん。
三男の航は九か月。ハイハイも上手になり、ただ今つかまり立ちの練習中。お菓子やおもちゃ目掛けて突進しては、何でも口の中へ。でも、大好きなお兄ちゃんたちが保育所から帰ってくると、「僕と遊んで」と言わんばかりに仲間入り。
いつも一緒に仲良し兄弟。いたずら盛りの三人ですが、思いやりのあるたくましい子に育ってほしいと願っています。



泊野球スポーツ少年団
サンフラワーズ

キラキラ輝く 子供たち

泊野球スポーツ少年団「サンフラワーズ」

は昭和五十年に結成され、今年で満十七年になります。

この間、県大会にも常時出場し、上位の成績を収めてきたほか、OBには甲子園出場を果たした子もいるなど、輝かしい伝統と実績を持ったスポーツ少年団です。

ここ数年は低迷を続けていましたが、最近ではまた徐々に力をつけてきました。

現在の団員は、小学校二年生から六年生までの子供たち約二十五名。泊地区が中心ですが、境地区から来ている子供もいます。

練習は毎週土曜・日曜と祝日。基礎的な体力づくりと野球



球の基本を体で覚えることを重点に、泊小学校のグラウンドで行っています。また、野球はチームワークのスポーツであることから、お互いの思いやりや集中力を継続できるように努めています。
グラウンドいっぱい大声を張り上げ、汗だくになって野球を無我夢中で追いかける子供たち。これからは野球を通じて、キラキラと輝くひとみを持った子供たちを一人でも多く育てていきたいと考えています。



わたしのふるさと

藤田玲子さん(弥生町)

ふるさとを紹介してください。

藤田 新潟県の板倉町です。新井市の隣、長野県との県境にある町で、人口は約八千五百人。広大な牧場と紅葉の美しさで有名な光ヶ原高原や、新鷺聖人ご内室恵信尼公ゆかりの地としても知られる、のどかで自然豊かな町です。高速道路ができて、朝日町からは一時間半くらいで行けるようになりました。

朝日町に来られて何年になりますか？

藤田 もう九年になります。現在は夫といっしょに泊で「じんじや」ラーメンのお店を開いています。



が、皆さんにかわいがっていただき六年目を迎えました。
朝日町での生活はいかがですか？
藤田 朝日町にくる前に富山市内に三年ほど住んでいたこともあり、こちらの生活には異和感なく入り込めました。ただ、のんびりしている新潟県人に比べ、富山の人はしゃべりやきしているというか、県民性の違いは感じますね。
朝日町に望むことは？
藤田 仕事の面でも観光やレジャーの面でも、町に住む人が出かけていくばかりではなく、もっと町外の人が入りやすいような町になればいいと思います。

鶏の目鷹の目……鶏や鷹が獲物をあさるときのように、鋭く物を捜し出そうとする目つきや、その様子。

家貧しくして孝子顕る……家が貧乏だと、子供も家のために働かなければならず、その善行が孝行な子としてはっきり人に知られる。逆境のときこそ立派な人物があらわれるということ。

町長のひとりごと



新年度がスタートして1か月余り。ゴールデンウィークも終わりました。休みの期間中、大自然の中で心身ともにリフレッシュされた人も多かったのではないのでしょうか。

山地の多い朝日町では、林道や作業道などの整備・開設により、かなりの奥地まで行けるようになっていきます。しかし、最近では心ない人たちによるゴミの不法投棄が増え、苦情も多く寄せられるようになってきています。自分の家にはゴミを捨てないのに…。こうした人たちの反省を促すとともに大切な町の自然を守っていく必要を感じています。

ところで先日、県内の町村長さんらとヨーロッパ各国の地方行政を視察してきました。異国の地で多くのことを学んできましたが、俗に言う「時差ボケ」も体験させていただきました。

午前9時に成田を離陸。約12時間後にフランスに着くと、そこは午後の1時45分。時差は約7時間あります。40数年間、朝起きて暗くなると眠るという生活習慣が身についているものですから、体調を整えるのに苦労をしました。

しかし、帰国直後の時差ボケもすっかり解消。今回の視察で得たことを生かしなが、より積極的に町政を進めていきたいと考えています。

(5月12日記)



0-B 0-A 0-C
▲つつじ(13)



▲バイン&アップル(14)



▲真涼つかさ(16)



▲砂田千晶(19)



▲大蔵正道(12)



▲解せる君(16)



▲羽柴輝子(?)



▲ゆうきまさこ(14)



▲稲荷智子(4)



▲稲荷直子(6)



▲dream(14)



▲堂用寛朗(8)



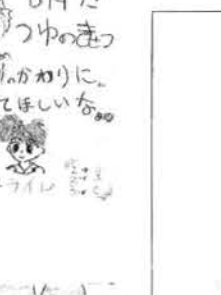
▲愛花夢(14)



▲PSALM(14)



▲スライム(11)



▲後藤優(8)



▲版画 アサヒサミットさん(73)



▲睦月安耶子(14)



▲トランス(11)



▲Totem(19)



▲ふんじゅ(14)



▲水無月 剣純(15)



▲ファンキーモンキーベイビー(11)

★このページをみんなでつくるページにしたいと思います。イラストやマンガ、ご意見、皆さんに知らせたいこと、なんでもけっこうです。もしお寄せください。

紙上匿名は、その旨をはっきり書いて、住所、氏名を明記して送ってください。また、広報係では、広報あさひに対するご意見や、取り上げしてほしい問題など皆さんの声をお待ちしています。ご一報を。

広報クイズ ⑥

(問題)

- ①町政に対する意見を町長への便りとして送る制度は？
Aやまびこ通信 Bうみひこ通信 Cこだま通信
- ②「〇〇富士」と呼ばれる朝日町の山は？
A羽入富士 B南保富士 C大家庄富士
- ③「歴史公園」に復元された江戸時代中期の建物は？
A横水家 B不動堂家 C川上家

(応募方法)

☆はがきに答えの記号(例①A、②B、③C)、住所、氏名、年齢を記入して送



(つくし摘み) (5歳児)

「つくしを見つけて」
Rくん「これ小さいから保育所」
「これは1年生のつくし」
(はかまが4つあるのを見つけて)「4つあるから4年生やよ」
保母「それじゃ、つくしの先生はどれ？」
Rくん「わからんよ。いっぱい付いとるがなもん」(はかまが4つあるのを見つけて)「4つあるから4年生やよ」
保母「それじゃ、つくしの先生はどれ？」
Rくん「わからんよ。いっぱい付いとるがなもん」(はかまが4つあるのを見つけて)「4つあるから4年生やよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(露(つゆ)) (3歳児)
(露のおりた道を歩いて)
Aくん「だれ、葉っぱの道に水まいたがやろ？」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」

(赤ちゃんじゃない) (3歳児)
(新入所児のKくん、ミルクを一口飲んでゲゲエしている)
Yくん「Kくん、どうしたの？」
(Kくん、下を向いて目に涙をいっぱいためている)
Yくん「ミルクきらいなんだね」
Kくん「ちがうよ、ちがうよ」
(Kくんの目から涙が…)
Yくん「ちよっとだけ飲んだら」
Kくん「だって、だって、ボクもう赤ちゃんじゃないからミルク飲まないんだよ」



交通安全指導「上手に渡るかな？」 (笹川保育所)

届けてください

まちを育てる
まちを愛する

あなたの声を



町長へのたより

お便りお待ち
しています

「やまびこ通信」の用紙を
広報あさひ6月号と一緒に皆
さんのお宅にお届けしました。
町政について日ごろから感じ
ていることを通信用紙に記入
した後、二つに折ってノリ付
けし、ポストに入れてくださ
い。切手をはる必要はありま
せん。
「やまびこ通信」で寄せら
れた意見は、町長がすべて目
を通し、担当者にその対応を
待ちしています。

指示します。指示を受けた担
当者は内容を十分に調査・検
討し、可能なものから対応し
ていきます。

また、その対応の仕方につ
いては、便りを寄せた人にお
知らせして了解を得るよう
にしています。さらに、その中
で皆さんに広くかわる問題
については、広報あさひで紹
介もしています。

町を良くし、町を育ててい
くのは皆さん一人ひとりの意
見です。あなたのお便りをお
待ちしています。

町大会等成績

第35回町民ソフトテニス大会
(5/10 町民テニスコート)
・優勝 泊2区 ・次勝 南
保 ・参勝 五箇庄・宮崎
第10回町民テニス大会 (5/10
町民テニスコート)
・優勝 五箇庄 ・次勝 泊
2区A ・参勝 南保・山崎

県大会等成績

富山リレーカーニバル (5/26
県営陸上競技場)
・中学男子総合優勝 朝日中
・中学男子1000Mリレー
1位 朝日中 2分8秒2(角
丸映至・大菅康夫・蓬沢明人・
広田直人)
・中学男子400Mリレー 2
位 朝日中 46秒4(蓬沢明
人・角丸映至・宇田康隆・広
田直人)
県高校春季大会
※柔道 (5/25 県営武道館)
・男子個人 95kg級1位 中
島誠一 ・女子個人 66kg級
1位 上野晴美 無差別級1
位 小林芳
※バレーボール (5/27 高岡工
芸高校他)

7/3 町営プールオープン!

—監視員も募集—

●開設期間 7月3日(金)～9月6日(日)
(8/14～8/16は休み)

プール監視員としてアルバイト学生を募集
します。期間は7月下旬から8月末日までで
す。詳しいことについては、町民総合体育館
(☎83-1838)へ問い合わせを。

全国大会等成績

全日本団体別選手権大会兼バ
ルセロナ五輪女子柔道最終選
考会 (5/10 東京代々木体育館)
・66kg級 小林芳 (2回戦出
場)
全日本女子柔道県予選会 (5/5
塩谷建設正気館道場)
・無差別級1位 小林芳

平成3年度朝日町 体育協会総合成績

優勝 泊2区
次勝 大家庄地区
次勝 泊3区
(表彰状受賞者)

・内山之夫(泊2区体協)・
九里静夫(町柔道協会)・小
川元彦(町ビーチボール協会)
・加藤好進(全国身体障害者
スポーツ大会走り幅跳び1位)
・朝日テニス協会女子Aチー
ム(県体2部優勝)

すくすく育て 青少年

—青少年育成県民運動推進指導員—

青少年の健全育成活動に
指導的な役割を果たしてい
ただく青少年育成県民運動
推進指導員に次の10名の方
々が決まりました。地域で
の青少年の健全育成に関す
る問題は、各地区の指導員
に気軽に相談してください。
○水島謙吾(境) ○扇谷俊
成(宮崎) ○小塚弘道(笹
川) ○青木珠栄(泊1区)



○草東時夫(泊2区) ○畑
良造(泊3区) ○南茂常人
(五箇庄) ○長谷くに子(南
保) ○秀永章史(山崎) ○
石橋芳和(大家庄)

医療の現場から



あさひ総合病院
小児科医長
酒井由紀先生

子供のアレルギー

最近、子供のアレルギー疾
患が増えています。皮膚のカ
サカサした子、風邪をひくた
びにゼーゼーする子をよく見
かけます。こういう子供全員
に検査するわけではありません
が、家族にアレルギー疾患
(花粉症や蕁麻疹等)のある
人にはアレルギー素因がある
と疑い、検査を勧めます。

病気の治療はまず原因を探
すことです。アレルギーの原
因探しには、皮膚反応をみる
方法と血液検査があります。

アトピー性皮膚炎と食物ア
レルギーの関係は明らかでは
ありませんが、血液検査で卵
や牛乳に反応のでる子はもち
ろん、陰性でも禁止するだけ
で皮膚症状の軽くなることが
あります。しかし、素人判断
で勝手に食品回避をしては栄
養の問題がおこります。また
軟膏を塗ることだけに一生懸
命で、皮膚を清潔にすること
を怠っているのは治りません。

気管支喘息の原因の多くは
家のほこりやダニですから、
治療の第一は部屋の掃除に
あるわけです。しかし、発作が
起これば止める治療が必要で
す。喘息の発作は火事にも例
えられ、ひろがらないうちに
早く火を消すことが大事です。
我慢せずに病院にかかりま
しょう。そして、一度火事が
起これば火が消えた後も焼け
跡には再び火のつきやすい状
態が続いています。断薬は医
師の指示を受けてください。

ホット求人情報

平成4年6月分

整理番号	求人職種	年齢	賃金	性別	就業場所	採用人数	資格経験等
1	商品管理	18才～40才	150,000～300,000	男	朝日町平柳月8日	3	高校卒以上
2	工程管理者	18才～40才	185,000～215,000	男	朝日町三枚橋日、4週5休	2	高校卒程度普通免許
3	営業・配送	18才～60才	200,000～270,000	男	朝日町宮崎日祝	1	不問普通免許
4	コース造成	25才～45才	140,000～300,000	男	朝日町横尾日祝、4週5休	2	土木経験10年土木施工管理技師
5	靴・カバン・小物販売管理	18才～50才	120,000～300,000	男女	朝日町泊火曜又は水曜日	3	普通免許
6	紳士服・婦人服販売	25才～40才	120,000～150,000	女	朝日町泊水曜、4週5休	2	不問
7	販売スタッフ	18才～45才	128,000～135,000	女	朝日町泊4週6休	2	
8	宝石・時計販売	20才～40才	120,000～140,000	女	朝日町平柳水曜	1	
9	ビルメンテナンス	35才～70才	130,000～200,000	女	朝日町舟川新月曜	2	
10	看護婦	18才～55才	140,000～170,000	女	朝日町道下指定日	2	准看、正看

※「求人情報一覧表」もご利用下さい。(「商工観光課カウンター」に展示)
※くわしいことは、魚津公共職業安定所朝日分室 ☎82-0198へお問い合わせください。

朝日町職員

朝日町(本庁・出先機関)で事務等に従事する職員の採用試験を次により行います。
採用予定人員

- ▽一般事務(上級) 若干名
- ▽土木技術(上級) 若干名
- ▽建築技術(上級) 一名

募集

昭和37年4月2日以降に生まれた人で、大学を卒業または来年3月卒業する見込みの人。

その他の条件
一般事務は町内に住所を有するか学業のため転出している人。

試験の日・場所
○一次試験 平成4年7月19日

おしらせかわら版

役場(代表)
教育委員会

☎83-11100
☎82-11104

町民総合体育館
☎83-1838



朝日町社会福祉協議会は、皆さんと共に地域の福祉向上を目指す福祉団体です。
・場所 朝日町福祉センター内
☎83-0576

ボランティア
だより

皆さんの笑顔を励みに

「ボランティアグループ「朝日民舞会」」

町の民謡教室がきっかけで誕生した私たち「朝日民舞会」は今年で結成10年目を迎えました。13名の会員は、大村先

生の熱心な指導を仰ぎながら各種施設への慰問や福祉関係の大会などで踊りを披露する一方、老人ホーム「有磯苑」の草むしりやお

年寄りの皆さんの嬉しい物のボランティアなども行っています。会員の大半は勤めを持っていますが、皆さんの笑顔が活動の励み。これからも会員の協力と和を大切にこうした活動を続けていこうと張り切っています。



協賛 やさしい明日の福祉のために

社会福祉協議会の平成4年度予算及び事業計画が決まりました。総予算額は一般会計1726万5000円、特別会計1234万4000円の計2960万9000円。皆さんの意見や要望を取り入れながら、明日を見つめた福祉事業を展開していきます。

かわいい花鉢プレゼント

「朝日町日赤奉仕団」

今年も朝日町日赤奉仕団の皆さんが5月7日、8日の2日間、日赤富山県支部から贈られた花鉢を持って、町内に



ありがとう あたたかい志

朝日町善意銀行 (4月11日～5月10日)

○荒川5丁目 愛場 博さんから亡母りよさんが生前お世話になったお礼として 100,000円

○東下町 松本鋼造さんから亡父寅造さんが生前お世話になったお礼として 100,000円

○長野 近藤 潤さんから亡父慶次さんが生前お世話になったお礼として 100,000円

○宮崎 河内 啓さんから亡母ツヤさんの供養として香典返しの一部 100,000円

賛助会員加入状況

会員の皆さんの会費を基金

住む70歳以上の一人暮らし老人宅をたすねて回りました。「毎年いろんな花をありがとう」「大切に育てます」。思いやりを添えたかわいい花のプレゼントにお年寄りの皆さんは大喜びの様子でした。

朝日町社会福祉協議会平成4年度会計予算 (単位:千円)

会計区分	本年度予算額
一般会計	17,265
特別会計	
善意銀行特別会計	3,817
共同募金会朝日町支会計	4,492
日本赤十字朝日町分区分計	4,035
計	12,344
合計	29,609

として積み立て、地域福祉の充実に役立てようと、町社会福祉協議会が募集している賛助会員に次の方々から加入申し込みがありました。

松倉悦子、東とめ、荒川貞子、上杉ハルエ、魚津道子、大谷民子、島端民子、田中民子、寺西モトエ、氷見みさ、平坂義一、花房しげ、前川弘、前川ミチ子、前川太久哉、後藤幸次、後藤アキエ、高松登美子、水島衛、河村祖禪、蓬沢幸夫、蓬沢玲子、水島末吉、藤林豊、半白芳造、半白芳枝、村上富子、竹中孝子、竹中晋作、田中鐵雄、田中のぶ子、丸岡貞作、草野三郎、永井昇、長津一夫、青島浩幸、青島真由美、仙名久一 以上、個人38名(5月10日現在)申し込みは、町内担当民生委員または、町社会福祉協議会へ。

イベント

海岸洋上見学会 下新川クルージング

建設省では、下新川の海岸施設の見学をはじめ、新たな発見を求めて次のとおり洋上見学会を開催します。

期日 7月26日(日)
対象 一般(小学生以上)
定員 150名(午前75名、午後75名)

会費 無料
応募締切り 6月30日(火)
応募条件 児童(小学生)は保護者同伴のこと。

申込み方法 往復はがきに参加希望者(2名まで)の住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入のうえ、〒938黒部市荻生新堂6903-1(北陸建設弘済会黒部出張所へ)当選者には7月10日までに連絡)

コース 石田漁港(集合乗船)宮崎漁港、石田漁港(下船)問合せ 建設省黒部工務事務所調査課(☎52-1122)へ。

保険だより

「老人保健医療受給者証」一斉更新のおしらせ

有効期限が平成4年6月30日の受給者証及び健康手帳をお持ちの人、まだ有効期限がきていない受給者証をお持ちの人も全員更新となります。新しい受給者証は白色です。従来のクリーム色のものは7月1日から使えなくなり、6月中旬に皆さんに更新手続きの案内はがきをお送りしますので、各地区の指定日に老人医療受給者証・健康手帳・保険証・ハンコを持って必ず手続きにおいでください。

とき	9:00～12:00	13:00～16:00
23日(火)	境地区 境公民館	宮崎地区 生活改善センター
24日(水)	笹川地区 中央農協笹川支所	南保地区 中央農協南保支所
25日(木)	山崎地区 農村婦人の家	大家地区 大家農協
26日(金)	泊地区 職工会館	
29日(月)	五箇地区 五箇公民館	

喧嘩両成敗……喧嘩や争いをどちらの主張も認めず、両方ともに罰などをそれぞれに与えめごとを落着させること。中世、近世には、このような法の考え方があった。江戸時代の「忠臣蔵」の事件では、その原則が守られず、幕府が浅野だけを罰したため非難を浴びたという。

暮れぬ先の提灯……手まわしのよいことのたとえ。また、手まわしがよすぎて、かえって間のぬけていることのたとえ。

生活必需品価格

5月分(毎月10日現在調査)

単位:円

品名	平均価格		
	5月	前月比	前年同月比
石油製品			
ガソリン(掛売1ℓ)	132	0	- 2
灯油(配達18ℓ)	976	0	- 43
LPGガス(5㎡)	3,117	0	+ 27
日用品			
台所用洗剤(中性洗剤600ml)	256	+ 25	+ 1
ティッシュペーパー(400枚紙箱入り)	156	- 21	- 2
トイレットペーパー(ロール4個組)	306	0	+ 23
食品			
食パン(普通品6枚入り)	175	- 2	+ 5
マーガリン(450g1箱)	326	+ 1	- 12
加工食品			
しょうゆ油(1.8ℓペットボトル入り)	574	0	+ 31
サラダ油(ポリ容器700g入り)	362	+ 13	+ 10
とうもろこし(もめん1丁)	103	+ 11	+ 9
牛乳(1ℓパック入り)	256	0	+ 18
生肉			
牛肉(中肉もも100g)	410	- 21	- 6
豚肉(中肉もも100g)	198	+ 7	+ 11
鶏卵(Mサイズ10個)	159	- 2	- 60
鮮食			
玉ねぎ(普通品1kg)	158	+ 14	- 29
ばれいしょ(普通品1kg)	251	+ 24	- 79
品			
キャベツ(普通品1kg)	149	+ 16	- 274
人参(普通品1kg)	210	- 92	- 506

県民カレッジ委託教養講座

●場所/朝日町生涯学習館 ●時間/14:00~16:00

月日	内容及び展開	講師
6/11(木)	くらしに詩を	県民カレッジ客員教授 久泉 迪雄
6/18(木)	朝日町の文化(現地研修)	朝日町文化財審議会議長 竹内 俊一
6/25(木)	知ること、信じること	県民カレッジ学習専門員 菅田 宣雄
7/2(木)	漢民族の智慧	上海復旦大学名誉教授 青柳 志郎

※申込み・問合せは魚津教育事務所(☎24-5311内線495)へ。



愛の献血

ご協力ありがとうございます。
協力者名(4月実施分、☆印は400ml、※印は成分、その他は200ml献血者)
境地区 和泉祐子 笹川地区 ※堀内英顕、勝田夕美 泊地区 ☆森英一郎、☆泉美枝子、☆石井範子、※平田千秋、※荒尾恒 ※大橋邦子、※岩城佳

弘、泉靖夫、大橋哲明、室辰男、山口千春、中陣撰子、阿部剛、笹川広実、佐渡明子、金森健二、筒井謙治、岡静男、五箇庄地区 ☆松倉秀夫、※吉井直人、河村礼子、岩田豊次郎、嶋田夕香 南保地区 ☆谷秀人、※清水親志、坂口敬、谷田智香 山崎地区 ☆柳沢慶幸、☆青島周作、※安達政昭、青島文子、安達雄子、秋山利子、名越澄子 大家地区 ☆清水知香子、☆右井康紀、☆澤田剛、※住吉雅代、清水邦夫、高田小百合(以上43名)
◇ご寄付を
ありがとうございます
▽北陸電力(株)入善営業所さん
から水銀灯1灯

風水害のシーズン

- 気象情報に注意しましょう。
- 非常用品を準備しましょう。
- 危険がせまったら、すぐに安全な場所へ避難しましょう。



泊3区公民館主催

「落語の夕べ」

- 日時 6月21日(日) PM6:30~
- 場所 平柳「勝蓮寺」
- 出演者 三遊亭良楽・三遊亭竜楽 三遊亭道楽
- 参加費 前売券500円・当日券600円
- 問合せ 西岡(☎83-3556) 中島(☎83-2592)へ。

一笑健康

奥さま工場見学会

町内にある企業に対する理解を深めていただくため、次のとおり見学会を実施します。
期日 6月26日(金)

婦人ボランティア育成講座「郷土史講座」

日時 6月17日(木)午後1時30分(以降毎月第1水曜日の10回コース)
場所 生涯学習館ほか
講師 竹内俊一氏
申込み・問合せ 教育委員会(☎役場内線304)へ。

児童手当を振り込みます

児童手当の6月定期支払い分を次のとおり指定の口座に振り込みます。

おしらせ

内容 工場見学と企業内食堂での体験昼食など。
会費 無料
定員 40名(定員になり次第締め切ります)
申込み期限 6月19日(金)
申込み・問合せ 役場商工観光課(☎内線117)へ。

LPガス保安調査にご協力を

富山県LPガス保安センターでは2年に1度、各家庭を訪問してガス器具の点検を行っています。点検に伺った際には、ご協力をお願いします。
なお、不明な点は富山県LPガス保安センター(新川地区支所)☎24-5340へ問い合わせを。

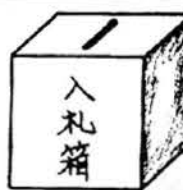
町の工事発注状況



〈H4.4.1~4.30〉

このコーナーは、町が入札を行ったものを掲載しています。

工事名	場所	完成予定	請金	負額	業者	担当課
道路橋梁新設改良事業	若草町清水町	5月	2,410,200	円	小川建設工業株式会社	建設課
町道若草町清水町線舗装工事						



テーマは「環境問題」

新川青年会議所では、「環境問題」をテーマに7月5日・13日・16日の3回にわたり、講演会やセミナーを開催します。
詳しいことについての問い合わせは新川青年会議所(☎22-5976)へ。

新しい本

あなたの本箱
朝日町立中央図書館(☎83-0574)

(一般書)
知って知らないから常識
ケネディ兄弟とモンローの秘密を握っていた男 ピーター・ローフォード
ジエイムズ・スバダ
試された女たち 澤地久枝
原宿日記 林真理子
友達と恋人と 野坂実央
ずるい老人たち 和多田幸一
恋に効く深層心理ゲーム 中村雅彦
恋も仕事もはやい! はやい! 小俣雅子
ごみに挑む 北日本新聞社編集局
(小説)
至高聖所(アバトーン) 松村英子

本の紹介

「速さのちがう時計」

星野富弘



不慮の事故で手足の自由を失い、九年間入院。入院中より口に筆をくわえて詩や絵をかきはじめ、それらの詩画は多くの人に深い感動を与えています。
この本は、ふるさとの花を中心に、自然とのふれあいをサインペンで描いた花の詩画集です。

●平成4年6月号 17

役場(代表)
教育委員会

☎83-1100
☎82-1104

町民総合体育館
☎83-1838

おすこやかに



島 勝浩 長男 健 悟 境
佐渡 浩 長女 恵 東草野
高鳴 朗 2女 莉 菜 中草野
草山光政 長女 沙 耶 旭ヶ丘
濱 健一 長男 竜之助 赤 川
水野 彰 長女 美 希 谷
青島浩幸 長女 和 音 羽 入
井口邦弘 長男 省 吾 井の口

3人目の誕生

おめでとうございます

中島敬治 長男 努 教 清水町
山本 豊 長女 真 央 高 野

おしあわせに



島 田 努	上横尾
島 田 敦美	上横尾
佐 渡 雅晴	東草野
泉 有佳	荒川4丁目
酒 井 靖之	末広町
古 川 明美	宇奈月町
内 山 正子	上道下
押 切 百合	山形県
加 賀 里志	桜 町
上 川 智美	入善町
小 川 孝幸	桜 町
萬 屋 千明	黒部市
勝 野 幸志	長野県
西 田 浩子	月 山
竹 内 洋文	蛭 谷
堀 尾 裕美	西三浦町
井ノ口 浩松	柳 田
	宇奈月町

こめいふくを



山 田 キ ヨ(85)	笹 川
松 本 寅 造(90)	下 町
米 田 豊 作(78)	上 町
中 島 照 子(47)	上 町
野 田 道 明(40)	東 草 野
平 坂 志 明(92)	下 道 下
名 越 甚 作(84)	平柳2区
小 川 元 彦(44)	桜 枚 橋
岡 田 新 作(82)	舟 川



朝日の富士山を征服したぞ

——南保富士山開き登山会——

全国各地には「富士」と名の付く山が三百近くあるといわれていますが、朝日町にあるのが南保小学校の校歌にもうたわれている南保富士（七二七・一）です。

この地元の富士山に登ろうと五月十日、南保地区の人たちが山開きを兼ねた登山会を行いました。

地区公民館主催のこの登山会には、南保小学校の子どもたちやその家族など約五十人が参加。午前八時三十分、三峰にある登山口に集合した皆さんは、小鳥のさえずりを聞きながら新緑に包まれた登山道を元気に進みました。

そして約一時間半後には、全員が山頂を征服。眼下に朝日町を見下ろしました。



待ち時間

退屈させません

あさひ総合病院では、患者の皆さんに診察待ちの時間を二階会議室を開放して患者さん向けの医療ビデオを放映しています。

ビデオは「大丈夫です」「緑内障」「腰をいたわる生活のすすめ」「高血圧と食事」など、日替わりのメニューで種類もいろいろ。

毎日、午前中放映していますが、患者の皆さんからは「退屈な待ち時間がムダにならず、ためになる」となかなか好評のようです。

太公望になった気分

——棚山ファミリーランドでちびっ子釣り大会——

緑と水のミニリゾート地、棚山ファミリーランドで四月二十六日、「ちびっ子釣り大会」が開かれました。

昨年に続き二回目となったこの日の大会には、今年も大物を釣り上げようと、町内外から約四十人のちびっ子たちが参加。初夏を感じさせるような日差しの中、豆太公望たちはヘラブナやコイなどをねらって、思い思いのポイントに釣り糸を垂らしていました。



——宮崎沖で海難救助訓練——

出番は少ないほうが...

本格的な海のシーズンを前に五月十七日、県小型船舶交通安全協会の海難救助訓練が宮崎沖で行われました。

この日の訓練には、伏木海上保安部の巡視船「くろゆり」「おきつかぜ」や新潟航空基地のヘリコプター「こしじ二号」のほか、同協会加盟のレジャーボート三十隻、総勢八十人が参加しました。

訓練は宮崎沖でボートと漁船が衝突、乗組員が海に転落したとの想定でスタート。海難船のえい航、ヘリコプターによる救出作業などが本番さながらに行われました。



実りの秋が楽しみ

——境小の子供たちが田植え——

五月九日、境小学校の子供たちが地域のみなさんと一緒に昔ながらの田植え作業を体験しました。

田んぼと畑の区別がつかないような子供たちが増えていく中、実際に苗を植えてもらおうと、地区公民館と学校がタイアップして実施。秋の収穫時まで、子供たちは稲の成長を観察しながら育てていくことにしています。



親しき仲に礼儀あり……たとえ親しい仲であっても、礼儀は守らなければならない。親しいからといって礼儀を忘れれば不和のもとになる。

今月の表紙

ふるさと再発見シリーズ ②⑦

ふれあいの時遊スポット

歴史公園



「歴史の里」をテーマに昨年の6月、国指定史跡「不動堂遺跡」の隣にオープンした「歴史公園」は、はるかな時代と交信できる時遊スポット。

しょうぶ池や芝生広場のあ
る広い園内には、昔懐かしい
水車小屋をはじめ、江戸時代
中期に建てられた県内では最
古の町屋「川上家」も復元さ
れているなど、時代のおもか
げがたっぷり。

北アルプスの朝日・白馬岳
を望みながら、ゆっくりと時
の移り変わりを感じることが
できます。



先人のぬくもり

なつかしの民具

(豆ぐい)

— 15 —



資料提供・民具ボランティア
つぶらの会

昔は春田が始まり田に水が入ると、すぐ畦塗りにかかりました。まず古草の生えた畦の表土を鍬ではがし、ねずみの穴をふさいだ後、新しく田の土を盛り上げて塗り固めていきます。畦は田に水をたたえるだけでなく、豆を植える畝にもな

りました。
この豆ぐいは、畦や畑に豆を植えるときに使用され、別名畦つく棒、豆植え棒と呼ばれていました。豆を植えるのは田植えを終えた五月末で、豆を入れたひょうたんを腰につるし、畦に三十センチ間隔で豆ぐいで穴をあけて二、三粒ずつ豆を植えて込んでいきました。
豆ぐいは、長年培ってきた農民の知恵でしょう。家の庭にある柿の木や榎の木の小枝を利用し、先を細く削り使いやすいうように工夫してあります。太さは約三センチ、長さは四十センチ程度ですが、自分の使いやすい長さに調節して作りました。
砂地で硬い畦や畑で用いられた豆ぐいは、小豆やごま苗などの植え込みにも使われましたが、現在では圃場整備が進んだことによりコンクリートの畦がほとんどとなり、畦に豆を植えることも少なくなりました。

先人のぬくもり

広報室



▼ゴールデンウィーク最終日の「子どもの日」、友人らといっしょに笹川の奥へと溪流釣りに出かけました。自然いっぱい町に住んでいるとはいえ、じかに大自然の中に身を置くのは久しぶり。清流の調べを聞きながら、ゆったりした時間を過ごしてきました。
▼この日の釣果はともかく、途中、車を止めておいた「観音岩」の近くで、岩をバックにしきりにカメラのシャッターを切っている家族連れを見かけました。「観音岩」といえば、先月の広報の表紙に使ったところ。ふだんは訪れる人も少ない場所だけに「きつと広報をご覧になって来られたのに違いない」と勝手に決めた、一人で自己満足。
▼しかし、広報を担当して四年。相も変わらず締め切りに追われ、マンネリ気味の紙面のことを考えると「勝手に自己満足している場合じゃないよ」という声が聞こえてきそうです。

●平成4年6月号 20